

週刊

こんにちは日本共産党です  
**八千代市議団ニュース**

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754  
 いはら 忠 ☎(488)7207

発行  
 日本共産党  
 八千代市議会議員団  
 八千代市大和田新田  
 312-5  
 ☎(483)1151

## 新年度予算案にかかわる秋葉市長の言い逃れ

3月9日から12日までの4日間、市議会予算特別委員会が開かれました。日本共産党は、秋葉市長が提案した来年度予算案に対し、日本共産党が指摘した主なものは、

・歳入の積算が過小に見込んでいるのではないか

市当局の答弁⇒年度中に下振れさせないように適正に見込んでいるとの答弁  
 (市民負担を押し付ける過小積算であることを指摘)

・消費税の3%増額分が全額社会保障費に使われているとは

市当局の答弁⇒他市の例をみて表現したとの答弁  
 (消費税増税分が社会保障に充てられていることを説明できていない)

・事業仕分けが新年度予算案にどう反映されているか。構想日本の影響は。

市当局の答弁⇒構想日本の影響はわからない。新年度予算案に反映させた。  
 (要改善、凍結と判定された事業以上に削減・廃止されている。事業仕分けが反映されているとは言えないと指摘)

・教育委員会制度の改悪によって教科書選定などどのように変わるのか

市当局の答弁⇒これまで同様に教科書選定は教育委員会で行う。  
 (市長の影響はないと確認)

・集会施設管理運営補助金の廃止を防犯灯の負担減と引き合いにすべきでない。

市当局の答弁⇒防犯灯の電気代負担を市が請け負う事で自治会負担は軽減したのだからと答弁  
 (しかし、2, 30年前から日本共産党は市民の安全のため、防犯灯の維持・管理は市が行うべきと主張。市が電気代を持つのも当然。その立場から、負担が減ったから、集会施設の補助金カットをすることは問題と指摘)

以上のほか、国民健康保険料の値上げ、介護保険料の値上げ、保育料の値上げ、下水道料金の値上げ反対の意見を述べ指摘しました。

しかし、福祉常任委員会に続き予算特別委員会でも市民クラブから、「審議不十分」理由は、新年度予算案に反映される「補正予算案」が緊急に追加議案として上程される予定であるにもかかわらず、提出されていない、16日の議会運営委員会後に、討論採決を行うべきとの意見が出されました。

日本共産党は新年度予算案に対して、組み替え動議の準備をしているが、新年度予算案に関係する補正予算案の内容を吟味することは必要との判断から、延期に賛成をしました。

